

(様式2)

令和 7年 12月 8日

高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松市立多肥小学校
校長名 大嶋 和彦

公印
省略

令和7年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、事業を実施したので、報告します。

学校の名称	高松市立多肥小学校
派遣内容	逃げ地図作り
日時	令和 7年 11月 13日 (木) 13:20 ~ 15:00
場所	多肥小学校 体育館
対象者 参加人数	児童数 215 名 クラス数 6 クラス 教職員 10 名 その他 0 名
内容・日程等	逃げ地図作り
取組における成果	<p>子どもたちは「逃げ地図作り」を通して、地域の避難経路の確認、危険個所の把握、地域の安全性を考える力などの達成感が得られた。また、防災マップに新たに避難場所や安全地域を加えて、より信頼性のあるマップを作りたいという意見もあった。</p> <p>また、話し合いや地図作成の中で、地域の道路や場所について「この辺りは安全な場所から遠いから気を付けないと。」とか「この辺りは安全な場所が多いから安心して過ごせる。」など会話をしながら作業していた。</p> <p>授業後、自分ひとり、もしくは家族で「避難場所までの経路を確認しておきたい。」など、防災意識の高まりがみられた。</p>
今後の課題	教員の準備に相当な時間を要するため、計画的な取り組みが必要である。

注) 当日の写真、資料等がありましたら、A4縦で添付してください。



まとめシート

3 班

氏名 ()

① 活動を通して気になったこと・気づいたこと、3つ!

(1) 町の方には避難場所が多い。

(2) 意外とさけん所が多い。

(3)

② より安全な避難ができるようになるために

(1)一人ひとりができること、(2)みんなでできること

(1)一人ひとりができること (例:おうちで話をしてみる)

- ・ 避難所の場所を決めておく。
- ・ 非常用バッグをつくらせておく。
- ・ もしもを話し合っておく。



(2)みんなでできること (例:避難場所がわかるようにかん板をつくる。)

- ・ みんなでマップを作る。
- ・ 全校生に伝える。
- ・ 場所を確認しておく。





まとめシート

3 班

氏名 ()

① 活動を通して気になったこと・気づいたこと、3つ!

- (1) 以外と3分~5分でにげれるところが多い
- (2) 水がこないところもたくさんある
- (3) びなん場所にならている、水がこない両方安全な所が1つあった。

② より安全な避難ができるようになるために

(1)一人ひとりができること、(2)みんなのできること

(1)一人ひとりができること (例:おうちで話をしてみる)

- ・一度その道に行ってみる。
- ・家やちいきの人たちに教える。
- ・もと情報をあつめる



(2)みんなのできること (例:避難場所がわかるようにかん板をつくる。)

- ・防災バックをよういする。
- ・びなんくんれんをじしする。
- ・ポスターをつくって、きけんを知らせる



